

# 平成27年度 事業報告

## 北海道・東北未来戦略会議

### 1. 「第10回ほくとうトップセミナー」の開催

北海道・東北地域の官民のリーダーが一同に会し、地域が抱える諸課題について意見交換を行うセミナーを開催した。今回のセミナーでは、「北海道・東北地域の官民による地方創生の推進」をテーマに、東北観光推進機構会長・東日本旅客鉄道株式会社取締役会長の清野智氏より講演を頂き、意見交換を行った。

#### 〔開催概要〕

日時：平成27年10月29日（木） 9：00～11：30

場所：花巻温泉 ホテル千秋閣 1階「グレイトホール瑞雲」

次第：

・開会挨拶

北海道・東北未来戦略会議会長  
青森県知事

三村 申吾

・講演

演題：『地方創生に観光が果たす役割』

講師：東北観光推進機構会長

東日本旅客鉄道株式会社取締役会長

清野 智 氏

・意見交換

座長：北海道・東北未来戦略会議会長  
青森県知事

三村 申吾

・報告

「官民連携に資する勉強会（地方創生研究会）」の取組状況（事務局報告）



▲トップセミナーの様子

～清野会長からの講演を受けて外国人観光客の誘致などについて意見を交わした～

## 2. 官民連携に資する情報共有

平成26年度に設置した「官民連携に資する勉強会（人口問題等勉強会）」を継承する形で、平成27年度は「官民連携に資する勉強会（地方創生研究会）」（メンバー：当会議構成団体の企画部局実務担当者クラス等で構成。座長県は宮城県）を設置した。北海道・東北地域の人口減少の状況や、政府の「まち・ひと・しごと創生本部」の動き、地方創生に向けた施策展開などを踏まえながら、北海道・東北地域の官民連携の方向性や地方版総合戦略のあり方について情報交換を行った。

### 第1回

日時：平成27年7月28日（火） 13:30～16:30

場所：（一社）東北経済連合会 10階会議室

議事：「地方版総合戦略等の策定状況について」

### 第2回

日時：平成27年10月8日（木） 10:00～12:00

場所：江陽グランドホテル 3階 「鴛鴦（おしどり）の間」（仙台市）

演題：『地方創生時代における公民連携のまちづくり ～北海道・東北地域への示唆～』

講師：オガールプラザ株式会社 代表取締役 岡崎 正信 氏



▲まちづくりについてアドバイスを求める出席者

### 第3回

開催日：平成28年2月8日（月）～2月9日（火）

視察内容：株式会社北九州家守舎・リノベーションによるまちづくり

博多港クルーズ船関連施設

九州地域戦略会議との意見交換



▲リノベーション物件の前で説明を受ける参加者



▲博多港中央ふ島に着岸した8万トン級のクルーズ船

### 3. 総会・幹事会の開催

#### (1) 総会

日時：平成27年5月28日（木） 13:30～14:30

場所：(一社)東北経済連合会 10階会議室（仙台市）

議事：議案第1号 平成26年度事業報告（案）及び歳入歳出決算（案）について  
議案第2号 平成27年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について

#### (2) 幹事会

##### 〔第1回〕

日時：平成27年4月28日（火） 13:30～15:00

場所：(一社)東北経済連合会 8階第1会議室

議事：①平成26年度事業報告（案）及び歳入歳出決算（案）について  
②平成27年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について

##### 〔第2回〕

日時：平成27年7月10日（金） 13:30～15:30

場所：(一社)東北経済連合会 10階会議室

議事：①「第10回ほくとうトップセミナー」の進め方について

##### 〔第3回〕

日時：平成27年10月8日（木） 13:30～15:30

場所：(一社)東北経済連合会 10階会議室

議事：①「第10回ほくとうトップセミナー」の進め方について

##### 〔第4回〕

日時：平成28年3月28日（月） 13:30～14:00

場所：(一社)東北経済連合会 10階会議室

議事：①平成27年度事業報告（案）及び歳入歳出決算（案）について  
②「香港協力ショップ」の位置づけ（案）について  
③平成28年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について

以上

## 4. 海外との経済交流拡大に向けた広域連携方策の推進

### 香港協カショップに関する情報収集

香港の旅行会社「縦横遊（パッケージツアー）」が香港協カショップを設置し、「日通商事（株）」が輸出事業者として契約、実施する「香港協カショップ事業」の取引・販売状況について情報収集を行った。

事業初年度となる平成 24 年度からの取引状況等は次のとおり。

#### （1）香港協カショップとの取引状況等

##### ①平成 24 年度

◇取引状況：香港協カショップより注文のあった希望産品を、各道県物産協会などの協力により確保し、日通商事が輸出。

◇販売実績：北海道・東北 8 道県の産品約 80 品目を販売し、1,076,798 円を売上げ。

##### ②平成 25 年度

◇取引状況：平成 24 年度と同じ取引状況にあったが、平成 26 年に入り、取引形態が変更になり、平成 26 年 3 月頃より、香港協カショップからの注文やオーダーは途絶えた。

◇販売実績：1,882,238 円

##### ③平成 26 年度および平成 27 年度

◇取引状況：現在に至るまで、日通商事に対する香港協カショップからの注文やオーダーは途絶えたまま。

◇販売実績：127,453 円

#### （2）取引形態が変更になった理由

香港協カショップが希望する産品の確保、輸出が難しい状況にあったことを確認している。

具体的には、香港協カショップが希望する産品と、各道県物産協会が推奨する産品とにミスマッチがあったこと。また、産品製造業者において輸出ルートが固定化されており、新たなルートとしての輸出が困難であったことが挙げられる。

以 上